

大学等名	開智国際大学
プログラム名	開智数理・データサイエンス・AI教育プログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

- ① 教育プログラムの修了要件
- ② 対象となる学部・学科名称
- ③ プログラム履修必須の有無
- ④ 修了要件

⑤ プログラム構成科目

必要最低科目数・単位数	1	科目
	2	単位

授業科目	単位数	モデルカリキュラム対応状況																					
		1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	その他	
(1) 必須科目 (プログラムを修了するために必ず履修しなければならない科目) ※卒業要件上の必修科目とは必ずしもイコールではない	データサイエンス概論A	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											
(2) 選択必須科目 (プログラムを修了するために一定の条件のもと履修しなければならない科目)																							
(3) 選択科目 (プログラムを構成する科目のうち「必須科目」「選択必須科目」のいずれにも該当しない科目)	データサイエンス概論B	2												○			○	○	○	○	○	○	
	AI概論	2														○	○	○		○	○		

⑥ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		授業に含まれているスキルセットのキーワード
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビッグデータ、IoT、AI、生成AI、ロボット「データサイエンス概論A」(第1回)</li> <li>・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「データサイエンス概論A」(第1回)</li> <li>・人間の知的活動とAIの関係性「データサイエンス概論A」(第2回)</li> <li>・複数技術を組み合わせたAIサービス「データサイエンス概論A」(第2回)</li> </ul>
	1-6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど)「データサイエンス概論A」(第4回)</li> <li>・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「データサイエンス概論A」(第4回)</li> </ul>
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「データサイエンス概論A」(第7回)</li> <li>・1次データ、2次データ、データのメタ化「データサイエンス概論A」(第7回)</li> <li>・構造化データ、非構造化データ(文章、画像/動画、音声/音楽など)「データサイエンス概論A」(第7回)</li> </ul>
	1-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「データサイエンス概論A」(第3回)</li> </ul>
(3) 様々なデータ活用の現場におけるデータ活用例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、モデル化とシミュレーション・データ同化など「データサイエンス概論A」(第7回)</li> <li>・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「データサイエンス概論A」(第9回)</li> </ul>
	1-5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「データサイエンス概論A」(第5、6回)</li> <li>・教育、芸術、流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等におけるデータ・AI活用例紹介「データサイエンス概論A」(第4回)</li> </ul>
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)「データサイエンス概論A」(第1回)</li> <li>・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫など)「データサイエンス概論A」(第2回)</li> </ul>
	3-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「データサイエンス概論A」(第2回)</li> <li>・匿名加工情報、暗号化と復号、ユーザ認証と、パスワード、アクセス制御、悪意ある情報搾取「データサイエンス概論A」(第2回)</li> <li>・情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介「データサイエンス概論A」(第2回)</li> </ul>
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの種類(量的変数、質的変数)「データサイエンス概論A」(第7回)</li> <li>・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「データサイエンス概論A」(第12回)</li> <li>・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い)「データサイエンス概論A」(第12回)</li> <li>・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、外れ値「データサイエンス概論A」(第8、9回)</li> <li>・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「データサイエンス概論A」(第8、9回)</li> </ul>
	2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)「データサイエンス概論A」(第8回)</li> <li>・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ、箱ひげ図)「データサイエンス概論A」(第10、11回)</li> <li>・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)「データサイエンス概論A」(第13、14回)</li> </ul>
	2-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)「データサイエンス概論A」(第9、15回)</li> <li>・データの集計(和、平均)「データサイエンス概論A」(第9、15回)</li> <li>・データの並び替え、ランキング「データサイエンス概論A」(第9、15回)</li> </ul>

⑦プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- ・数理・データサイエンス・AIを学ぶことの必要性を理解することができる。
- ・社会でデータがどのように活用され、新たな価値を生んでいるのかを理解することができる。
- ・データサイエンスでの問題解決手法について理解し、社会的課題に適應することができる能力を身につけることができる。
- ・AIの得意なところ、苦手なところを理解し、人間中心の適切な判断する力を身につけることができる。

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 令和7年度(和暦)

②履修者・修了者の実績(「学生数」「入学定員」「収容定員」は令和7年5月1日時点で記載)

学部・学科名称	学生数		入学定員	収容定員	令和7年度		令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		履修者数合計	履修率
	うち女性				履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
教育学部教育学科	382	139	130	462	46	37											46	10%
国際教養学部国際教養学科	398	176	90	348	44	33											44	13%
合計	780	315	220	810	90	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	90	11%

## 教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

## ① 全学の教員数

(常勤)	41	人
(非常勤)	32	人

## ② プログラムの授業を教えている教員数(令和7年度)

2	人
---	---

## ③ プログラムの運営責任者

(責任者名)	青木 徹
(役職名)	学長

## ④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

(名称)	データサイエンス教育委員会
------	---------------

## ⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

(名称)	開智国際大学データサイエンス教育委員会規定
------	-----------------------

## ⑥ 体制の目的

データサイエンス教育委員会は、開智国際大学における数理・データサイエンスの教育および研究の進展に資することを目的として令和6年度に設立された。

この委員会は、開智国際大学における数理・データサイエンス・AI教育プログラムの開発および運営の中心的な役割を担う。データ・情報分野を専門とする教員が委員として参画し且つ全学科から1名以上の構成員が選出されており、教職協働で数理・データサイエンス・AI教育の推進及び向上に取り組んでいる。また、プログラムの円滑運営のため定期的に会議を開催し、プログラムの履修者増や達成度向上のための施策などについて協議している。

## ⑦ 具体的な構成員

【委員長】	国際教養学部国際教養学科	准教授	椛澤恭子
【委員】	国際教養学部国際教養学科	教授	北垣日出子
	国際教養学部国際教養学科	教授	符儒徳
	国際教養学部国際教養学科	准教授	久米正浩
	教育学部教育学科	准教授	永山香織
	教務学生課	課員	大塚邑玲
	教務学生課	課員	松本聖史

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

令和7年度履修率	11%
令和8年度予定	25%
令和9年度予定	40%
令和10年度予定	55%
令和11年度予定	70%

具体的な計画

本プログラムを構成する3科目は全学部で選択科目としている。新入生ガイダンスにおける対象学生全体に向けての周知を積極的に行い、学生が関心を持つように促すことで、履修学生の増加を見込んでいる。

必須科目である「データサイエンス概論A」は、演習形式で行う授業内容を含むことから1クラスあたりの履修人数を制限しているが、将来的には、希望履修者数に対応していくために開講クラス数を増やし、学生全員の履修機会の拡大を計画している。

なお、次回のカリキュラム改正の際には全学必修科目とすることを検討する予定としている。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

プログラムの修了要件となっている授業科目「データサイエンス概論A」は教育学部の共通科目、国際教養学部の専門科目として開講しており、学部に関係なく希望する学生全員が履修できる。

また、学生がより履修しやすくなるよう、各学部の必修科目との重なりを避けたクラス分け等を考慮して時間割を組んでいる。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

数理・データサイエンス・AIを活用することの楽しさや学ぶことの意義、身に付けることができる能力などについて記載したプログラムのプロモーションペーパーを学内各所に掲示した。また、学生ポータルサイト(KIWI-net)を通じて学生に周知を行い、プログラム履修の促進を行っている。

また、令和7年度期首のガイダンスにて、対象学年の学生に上記のプロモーションペーパーをプリントして配布。プログラムの概要・特徴や身に付けることができる能力・スキルなど有効性に関する説明を行い、プログラムを構成している科目を修得すると修了段階に応じて「認定証」が発行される旨を伝達している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

プログラム対象科目の担当専任教員2名を含む情報科目担当専任教員3名が、本プログラムに関する学生の多様な相談に継続的かつ丁寧に対応できる体制を着実に整えている。教務学生課でも、データサイエンス教育委員会所属の事務職員が随時相談を受け付け、履修や修得に向けた実質的かつ的確なサポートを行っている。

パソコン準備が困難な学生には、パソコンやタブレット端末の無償貸与制度を整え、安定した学習機会を確保するサポートを実施している。さらに、無線LAN環境やPC教室、関連分野の図書・デジタル資料の体系的整備を進め、実践的な学修を継続的に支える環境をより着実に構築している。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

教員もしくはデータサイエンス教育委員会のメールや学習管理システム（Google Classroom）により、担当教員への質問が可能である。学生はプログラム構成科目である「データサイエンス概論A」の初回授業内で、質問方法に関する説明を受けている。メールや学習管理システムに届く質問に対して積極的に回答を行えるよう、教員間で連携して対応にあたっている。

また、各教員はサポートアワーを設けることが義務付けられており、受講生が直接教員の研究室を訪ねて学習指導が受けられるようにしている。

今後、学生の事前事後学習がより深まり、次の学習への意欲、動機付けになるような「学びの相乗効果」を生み出せるよう、必要な体制や仕組みづくりを検討する。

## 自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制 

データサイエンス教育委員会
---------------

(責任者名) 柁澤恭子

(役職名) データサイエンス教育委員長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>令和7年度より本学では、全学的に数理・データサイエンス・AI教育を推進するため、全学部・全学科の学生が対象科目を履修できるようカリキュラム改正および学則変更を行い、必要科目を体系的に配置している。履修状況については、教育内容を所掌するデータサイエンス教育委員会が科目の運営状況を把握し、教務学生課が履修者数等の学修関連データを継続的に収集している。</p> <p>令和7年度における「開智数理・データサイエンス・AI教育プログラム ベーシックレベル」の必須科目「データサイエンス概論A」の履修者は90名であった。同科目の合格率は77.8%であり、全学的な周知や履修指導を通じて学修への動機づけと基礎理解の定着が進んだ結果であると考えられる。</p>
学修成果	<p>本学では、学生が段階的に必要な知識・技能を身につけられるよう、ベーシックレベルとスタンダードレベルの二段階からなる教育プログラムを設け、それぞれに学修成果と修了基準を設定している。令和7年度はプログラム初年度であり、成果データは蓄積途上であるが、小テストや課題等を通じて理解状況を把握している。今後は、学修成果の可視化を一層進めるため、各レベルに応じたルーブリック評価の導入について具体的な検討を進める予定である。</p>
学生アンケート等を通じた学生の 内容の理解度	<p>全学で実施している授業評価アンケートの結果をもとに、「データサイエンス概論A」の理解度について分析を行った。本科目の有効回答数は74件であり、内訳は「よく理解できた」18件、「まあまあ理解できた」53件、「あまり理解できなかった」3件、「全く理解できなかった」0件であった。肯定的回答は約96%に達し、多くの学生が授業内容を理解していると判断できる。</p> <p>今後は質問時間の確保や補足説明の充実を図るとともに、後期開講のオプション科目でも同様のアンケートを実施し、学修理解度の把握と授業改善に活用する予定である。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等 他の学生への推奨度	<p>プログラムの必須科目「データサイエンス概論A」に関する授業評価アンケートでは、授業が分かりやすく、教員による丁寧なサポートや演習中心の構成が学びやすさにつながっているとの意見が多く寄せられ、本プログラム未履修者(後輩等)への推奨度も高いといえる。パソコンを活用した演習形式の授業は一定の実践性を有しており、Excel等の操作習熟を評価する声が多かった。加えて、学習意欲の向上につながる工夫を求める意見も一定程度見られた。</p> <p>今後はデータサイエンス教育委員会において授業内容のさらなる充実と改善策について検討を進め、学修支援の質向上を図る予定である。</p>
全学的な履修者数、履修率向上 に向けた計画の達成・進捗状況	<p>令和7年度よりカリキュラムの一部改正を行い、全学的な取り組みとして「開智数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を新設した。令和7年度は、本プログラムの認定に必須となる1科目に加え、オプション科目2科目を開講した。必須科目「データサイエンス概論A」は選択科目であるが、4月の履修ガイダンスにおいて内容を詳しく説明した結果、履修率は全学生の約11%に達した。</p> <p>今後はさらなる履修者拡大に向け、周知方法や広報体制の改善に取り組む予定である。</p>

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
<p>教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価</p>	<p>本教育プログラムは令和7年度より開始されたものであり、令和7年後期時点では修了者はいるものの、卒業に至った者はまだいない。そのため、修了者の進路状況や社会における活躍の把握・活用は、今後の重要な課題である。本学においては、卒業生を対象とした進路調査を一定期間後に実施しており、本プログラムの修了者についても、同様の方法により進路先や活躍状況を系統的に把握することを想定している。</p> <p>また、本プログラムの設計にあたっては、教育目的及び教育内容を十分に検討・策定している。今後は、関係機関等からのフィードバックを収集・分析し、教育内容の更なる充実・改善に反映させる計画である。</p>
<p>産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見</p>	<p>本教育プログラムの設計にあたっては、産業界の動向に加え、学校教育をはじめとする外部の教育現場の知見を踏まえつつ、教育目的および教育内容を検討し、数理・データサイエンスおよびAIの基礎教育の充実を重視している。また、社会的要請に応える教育の在り方を踏まえ、内容の妥当性や実効性を確保するよう配慮している。</p> <p>今後は、産業界や教育現場から得られるニーズを適宜把握し、それらを教育課程の改善に継続的に反映させることで、教育内容の一層の充実を図る方針である。</p>
<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>当該教育プログラムの必須科目「データサイエンス概論A」は各学部で選択科目として配置され、データを読み取り活用する力がSociety5.0社会のビジネスや教育現場でどのように役立つかを理解することを通じ、データ活用の意義や可能性を学ぶ内容となっている。</p> <p>また、学習過程ではデータサイエンスを学ぶ楽しさや、実務・教育の双方で活用できる知識を習得する意義を実感できる構成とされている。さらに、「AI概論」ではDXの進展と関連した人工知能(AI)の基礎を学び、ケーススタディ等を通して社会・教育・ビジネスでの活用可能性を理解することを目的としている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>学生に対しては各学期末に授業評価アンケートを実施し、本教育プログラムの対象科目すべてについて、授業の分かりやすさや満足度、改善点の把握に努めている。アンケート結果は科目担当者が点検・評価を行い、内容や水準が学生に適切であるかを確認し、教育の質向上に向けた改善に活用している。</p> <p>令和7年度より本プログラムを開始しており、今後はデータサイエンス教育委員会において教育内容・授業方法の評価や改善を継続的に行い、社会の変化や生成AIなどの技術発展を踏まえ、より分かりやすく教育効果の高い授業の充実を図る予定である。</p>

科目名	データサイエンス概論A																						
英語科目名																							
講義	415701:データサイエンス概論A																						
開講期	前期																						
科目ナンバリング	LAS218																						
担当教員名	椛澤 恭子																						
科目区分	共通科目 選択																						
開講年次	1~4																						
必・選	選択																						
単位数	2																						
担当形態	単独																						
授業概要	<p>データを活用することが当たり前になってきている社会では、さまざまな分析方法をとりながらビジネスへの応用がなされている。データの利用で世の中が便利になる一方で、データを取り扱う際に問題も生じている。本講義では、データと社会との関係性を学び、データを読み解き、扱うための基礎的な能力や、データやAIを利活用する際の倫理的な考え方を身につける。さらに、基本的なデータサイエンスの考え方や問題の解決を図るためにどのようにデータを活用していくかについてグループワークや演習を通じて学んでいく。</p>																						
授業計画	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">第1回</td> <td>                     インTRODクシヨン、本講義の進め方について説明する。                      データサイエンスとは何か?、データサイエンスに求められるスキルや知識、データガバナンスについて解説する。                 </td> </tr> <tr> <td>                     事前：データサイエンスに関するニュースにはどのようなものがあるのか調べておくこと（2時間）                      事後：PC操作について（PCでの検索、エクセル操作など）不安がある場合は確認しておくこと（2時間）                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2回</td> <td>                     生成AI・サイバーセキュリティ                      生成AIの歴史と進化、問題点について解説する。                      生成AIと著作権について解説する。                 </td> </tr> <tr> <td>                     事前：生成AIに関するニュースにはどのようなものがあるのか調べておくこと（2時間）                      事後：生成AIの使い方について自分の考えをまとめておくこと（2時間）                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第3回</td> <td>                     社会で起きている変化とデータサイエンスの必要性について解説する。                      データサイエンスの未来や発展について考える。                 </td> </tr> <tr> <td>                     事前：データサイエンスにまつわるニュースをWEB等で調べてみる（2時間）                      事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第4回</td> <td>                     データサイエンスの活用事例                      社会で実際に活用されている事例について解説する。                 </td> </tr> <tr> <td>                     事前：データサイエンスにまつわるニュースをWEB等で調べてみる（2時間）                      事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第5回</td> <td>                     身近な例からデータサイエンスとデータサイエンスがどのように課題解決していくのかについて、PPDACサイクルについて学ぶ                 </td> </tr> <tr> <td>                     事前：データサイエンスで何が解決できるのか個人で考えておく（2時間）                      事後：グループワークを通じて出た課題を個人でも考えておくこと（2時間）                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第6回</td> <td>                     アイディアソンの実施：データサイエンスで解決できる事例を考える（グループワーク）                      例を参考に自分たちで社会の問題を取り上げ、そこにどのようなデータがあれば解決できるかを考えること                 </td> </tr> <tr> <td>                     事前：前回の講義の内容について資料を再確認し理解しておくこと（2時間）                      事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）                 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第7回</td> <td>                     データの構造と種類・データの取り扱いやデータの評価方法について解説する。                 </td> </tr> <tr> <td>                     事前：前半の講義を振り返っておくこと（2時間）                      事後：オープンデータについて実際に調べてみる（2時間）                 </td> </tr> </table>		第1回	インTRODクシヨン、本講義の進め方について説明する。 データサイエンスとは何か?、データサイエンスに求められるスキルや知識、データガバナンスについて解説する。	事前：データサイエンスに関するニュースにはどのようなものがあるのか調べておくこと（2時間） 事後：PC操作について（PCでの検索、エクセル操作など）不安がある場合は確認しておくこと（2時間）	第2回	生成AI・サイバーセキュリティ 生成AIの歴史と進化、問題点について解説する。 生成AIと著作権について解説する。	事前：生成AIに関するニュースにはどのようなものがあるのか調べておくこと（2時間） 事後：生成AIの使い方について自分の考えをまとめておくこと（2時間）	第3回	社会で起きている変化とデータサイエンスの必要性について解説する。 データサイエンスの未来や発展について考える。	事前：データサイエンスにまつわるニュースをWEB等で調べてみる（2時間） 事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）	第4回	データサイエンスの活用事例 社会で実際に活用されている事例について解説する。	事前：データサイエンスにまつわるニュースをWEB等で調べてみる（2時間） 事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）	第5回	身近な例からデータサイエンスとデータサイエンスがどのように課題解決していくのかについて、PPDACサイクルについて学ぶ	事前：データサイエンスで何が解決できるのか個人で考えておく（2時間） 事後：グループワークを通じて出た課題を個人でも考えておくこと（2時間）	第6回	アイディアソンの実施：データサイエンスで解決できる事例を考える（グループワーク） 例を参考に自分たちで社会の問題を取り上げ、そこにどのようなデータがあれば解決できるかを考えること	事前：前回の講義の内容について資料を再確認し理解しておくこと（2時間） 事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）	第7回	データの構造と種類・データの取り扱いやデータの評価方法について解説する。	事前：前半の講義を振り返っておくこと（2時間） 事後：オープンデータについて実際に調べてみる（2時間）
第1回	インTRODクシヨン、本講義の進め方について説明する。 データサイエンスとは何か?、データサイエンスに求められるスキルや知識、データガバナンスについて解説する。																						
	事前：データサイエンスに関するニュースにはどのようなものがあるのか調べておくこと（2時間） 事後：PC操作について（PCでの検索、エクセル操作など）不安がある場合は確認しておくこと（2時間）																						
第2回	生成AI・サイバーセキュリティ 生成AIの歴史と進化、問題点について解説する。 生成AIと著作権について解説する。																						
	事前：生成AIに関するニュースにはどのようなものがあるのか調べておくこと（2時間） 事後：生成AIの使い方について自分の考えをまとめておくこと（2時間）																						
第3回	社会で起きている変化とデータサイエンスの必要性について解説する。 データサイエンスの未来や発展について考える。																						
	事前：データサイエンスにまつわるニュースをWEB等で調べてみる（2時間） 事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）																						
第4回	データサイエンスの活用事例 社会で実際に活用されている事例について解説する。																						
	事前：データサイエンスにまつわるニュースをWEB等で調べてみる（2時間） 事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）																						
第5回	身近な例からデータサイエンスとデータサイエンスがどのように課題解決していくのかについて、PPDACサイクルについて学ぶ																						
	事前：データサイエンスで何が解決できるのか個人で考えておく（2時間） 事後：グループワークを通じて出た課題を個人でも考えておくこと（2時間）																						
第6回	アイディアソンの実施：データサイエンスで解決できる事例を考える（グループワーク） 例を参考に自分たちで社会の問題を取り上げ、そこにどのようなデータがあれば解決できるかを考えること																						
	事前：前回の講義の内容について資料を再確認し理解しておくこと（2時間） 事後：講義で配布した資料を確認し、不明な用語等についても調べておくこと（2時間）																						
第7回	データの構造と種類・データの取り扱いやデータの評価方法について解説する。																						
	事前：前半の講義を振り返っておくこと（2時間） 事後：オープンデータについて実際に調べてみる（2時間）																						

	第8回	オープンデータ演習① オープンデータを使ったデータの取得、集計
		事前：表計算ソフトの操作について確認しておくこと（2時間） 事後：演習内容を復習しておくこと（2時間）
	第9回	オープンデータ演習② オープンデータを使ったデータの可視化
		事前：表計算ソフトの操作について確認しておくこと（2時間） 事後：演習内容を復習しておくこと（2時間）
	第10回	データの可視化演習① 棒グラフ、円グラフ、箱ひげ図
		事前：表計算ソフトの操作について確認しておくこと（2時間） 事後：演習の内容を復習し理解しておくこと（2時間）
	第11回	データの可視化演習② 折れ線グラフ、散布図、ヒストグラム
		事前：表計算ソフトの操作について確認しておくこと（2時間） 事後：演習の内容を復習し理解しておくこと（2時間）
第12回	データの可視化演習③ データの代表値、代表値を使ったデータの把握を行う	
	事前：表計算ソフトの操作について確認しておくこと（2時間） 事後：演習の内容を復習し理解しておくこと（2時間）	
第13回	データ比較演習① データ代表値の復習・1変数や2変数におけるデータの比較（クロス集計）	
	事前：表計算ソフトの操作について確認しておくこと（2時間） 事後：演習の内容を復習し理解しておくこと（2時間）	
第14回	データ比較演習② 1変数や2変数におけるデータの比較（A/Bテスト）	
	事前：表計算ソフトの操作について確認しておくこと（2時間） 事後：演習の内容を復習し理解しておくこと（2時間）	
第15回	これまでの演習の内容について解説する。 内容理解について演習テストを実施する。	
	事前：演習内容について整理しておくこと（2時間） 事後：演習テストで理解できなかった部分を復習しておくこと（2時間）	
到達目標	<p>データサイエンスの考え方の基本を理解し、説明することができる。</p> <p>数理・データサイエンス・AIを学ぶことの必要性を理解し、社会での活用の意義を説明することができる。</p> <p>表計算ソフトの基本的な操作スキルを身につけ、データの整理・分析を行うことができる。</p> <p>オープンデータの特性を理解し、データ活用をすることができる。</p> <p>データサイエンスでの問題解決手法について理解し、社会的課題に適応することができる。</p> <p>AIの得意なところ、苦手なところを理解し、人間中心の適切な判断をする力を身につけることができる。</p>	
ディプロマポリシー	DP1-3 社会貢献する強い意志と倫理観 DP2-2 情報収集・活用力 DP2-3 自律的に学ぶ力・自己研鑽力 DP4-2 創造的思考力 DP4-3 問題解決力	
学生へのフィードバック	演習に対するフィードバックは講義内で行う。	
授業/ALの進め方	演習は個人所有のPCで行う。 講義の中でグループワークを行う回がある。 講義の後半には演習を行う。演習の達成度の確認は演習課題の提出内容をもって行う。	
利用するICT機器	個人所有のPC（WindowsOS、日本語入力のできるキーボード必須）	
成績評価	【評価方法】演習（40%）、グループワークへの取り組み（20%）、演習への取り組み（40%） 【評価基準】5回以上の欠席は評価対象外とする。	
教科書	毎講義前に資料を配布する。	
参考書	講義内で適宜紹介する。	
受講学生へ	データサイエンスへの興味を持って講義に参加して下さい。後半は演習を行う予定です。 本講義は、文部科学省の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度に準拠しています。	

科目名	データサイエンス概論 B
英語科目名	
講義	415801:データサイエンス概論 B
開講期	後期
科目ナンバリング	LAS219
担当教員名	椛澤 恭子
科目区分	共通科目 選択
開講年次	1～4
必・選	選択
単位数	2
担当形態	単独

授業概要

いまやデータを活用することが当たり前になってきている社会では、さまざまな分析方法をとりながらビジネスへの応用がなされている。  
 本講義では、前半で分析の方法を学ぶ。また、後半では機械学習の中から、画像分析、テキストマイニングの基本を演習を通して学んでいく。

授業計画	第1回	<p>イントロダクション、本講義の進め方について説明する。                  データサイエンスとは何かを事例をあげて説明する。機械学習とは何かについて解説する。</p> <p>事前：データサイエンスに関するニュースにはどのようなものがあるのか調べておくこと（2時間）                  事後：PC操作について（テキストエディタ、ファイルの保存など）不安がある場合は確認しておくこと（2時間）</p>
	第2回	<p>データ分析方法とデータ内容の判断                  クロス集計①</p> <p>事前：演習内容を復習しておくこと（2時間）                  事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>
	第3回	<p>データ分析方法とデータ内容の判断                  クロス集計②</p> <p>事前：演習内容を復習しておくこと（2時間）                  事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>
	第4回	<p>データ分析方法とデータ内容の判断                  相関①</p> <p>事前：演習内容を復習しておくこと（2時間）                  事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>
	第5回	<p>データ分析方法とデータ内容の判断                  相関②</p> <p>事前：演習内容を復習しておくこと（2時間）                  事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>
	第6回	<p>データ分析とデータ内容の判断                  回帰分析①</p> <p>事前：演習内容を復習しておくこと（2時間）                  事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>
	第7回	<p>データ分析とデータ内容の判断                  回帰分析②</p> <p>事前：演習内容を復習しておくこと（2時間）                  事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>
	第8回	<p>実データを利用した分析①</p> <p>事前：第2回から第7回までの講義で実施した演習内容を復習しておくこと（2時間）                  事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>

	<p>実データを利用した分析②</p> <p>第9回</p> <p>事前：第2回から第7回までの講義で実施した演習内容を復習しておくこと（2時間） 事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>
	<p>実データを利用した分析③</p> <p>第10回</p> <p>事前：第2回から第7回までの講義で実施した演習内容を復習しておくこと（2時間） 事後：講義で行った分析を再度行っておくこと（2時間）</p>
	<p>機械学習について 機械学習の概要について説明する</p> <p>第11回</p> <p>事前：機械学習でどのようなことができるのかについて調べてみる（2時間） 事後：講義の内容を復習しておくこと（2時間）</p>
	<p>機械学習① 画像分類演習</p> <p>第12回</p> <p>事前：WEB上の画像の保存の仕方を覚えておくこと（2時間） 事後：講義内で行った演習を復習しておくこと（2時間）</p>
	<p>機械学習② テキストマイニング演習（1文書の解析）</p> <p>第13回</p> <p>事前：テキストマイニングとは何かについて調べてみる（2時間） 事後：講義内で行った演習を復習しておくこと（2時間）</p>
	<p>機械学習③ テキストマイニング演習（2文書の比較）</p> <p>第14回</p> <p>事前：テキストマイニングの手法について復習しておくこと（2時間） 事後：翌週のワークに備えて、各自で文書分析をしておくこと（2時間）</p>
	<p>機械学習④ テキストマイニング演習（ペアワークもしくはグループワーク）と発表</p> <p>第15回</p> <p>事前：テキストマイニングツールの操作を確認しておくこと（2時間） 事後：分析の考察を整理しておくこと（2時間）</p>
到達目標	<p>表計算ソフトの基本的な操作スキルを身につけることができる。</p> <p>表計算ソフトがもつ分析手法を利用することができる。</p> <p>分析結果の考察を自ら行うことができる。</p> <p>機械学習の目的が何であるかを理解し、どのように活用されているのか説明することができる。</p>
ディプロマポリシー	<p>DP1-3 社会貢献する強い意志と倫理観</p> <p>DP2-2 情報収集・活用力</p> <p>DP2-3 自律的に学ぶ力・自己研鑽力</p> <p>DP4-2 創造的思考力</p> <p>DP4-3 問題解決力</p>
学生へのフィードバック	<p>演習に対するフィードバックは講義内で行う。</p>
授業/ALの進め方	<p>演習は個人所有のPCで行う。</p> <p>講義の後半に演習を行う。</p> <p>演習の達成度の確認は演習課題の提出をもって行う。</p>
利用するICT機器	<p>個人所有のPC</p>
成績評価	<p>【評価方法】グループワークもしくはペアワーク（20%）、講義内演習（40%）、演習への取り組み（40%）</p> <p>【評価基準】5回以上の欠席は評価対象外とする。</p>
教科書	<p>資料を配布する。</p>
参考書	<p>講義内で適宜紹介する。</p>
受講学生へ	<p>本講義の履修条件：データサイエンス概論Aの単位を取得していること。 （初回講義時に確認します）</p>

科目名	A I 概論
英語科目名	
講義	414801: A I 概論
開講期	後期
科目ナンバリング	LAS216
担当教員名	符 儒徳
科目区分	共通科目 選択
開講年次	1~4
必・選	選択
単位数	2

**授業概要**  
 私たちの生活のいたるところに浸透してきている人工知能（Artificial Intelligence）は、人間の知能をモデル化し、コンピュータシステム上に実現することを目指す学問分野である。この授業では、人工知能（AI）の分野を概観しつつ、AIの基本知識や技術、およびAIを用いて問題解決をするための考え方などについての理解をすすめる。はじめに、AIの基本概念・歴史を理解し、AIの情報処理技術に占める位置づけ・重要性を正しく認識する。また、AIでは人間が問題を解決できるのではなく、それをいかにプログラム化するかということがポイント。その上で、基本的知識や技術および一般の問題解決の考え方などについて事例を通して学習する。

<b>授業計画</b>	第1回	【授業内容】人工知能への招待：人工知能（AI）とは、AIの歴史、AIの基本問題
		【事前事後学修】教科書・参考書の該当部分を事前に読了し(3時間)、事後にまとめる(1時間)。
	第2回	【授業内容】AIを賢くする技術：AIのしくみ、機械学習、ニューラルネットワーク、ディープラーニング（深層学習）
		【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(3時間)、事後に理解したことをまとめる(1時間)。
	第3回	【授業内容】深層学習「ディープラーニング」(1)：AIを賢くする技術，“見た”画像の数値化、数字の羅列から「特徴」を探し出す
		【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。
	第4回	【授業内容】深層学習「ディープラーニング」(2)：脳と同じしくみを利用した深層学習、画像をバラバラにする、信号の「重み」をかえる
		【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。
	第5回	【授業内容】AIの進化と社会進出(1)：将棋プログラム、アルファ碁、アルファゼロ、ディープフェイク、サッカーAI
		【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。
	第6回	【授業内容】AIの進化と社会進出(2)：材料開発AI、AIのひび割れ点検、AIの惑星探査
		【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。
	第7回	【授業内容】AIの進化と社会進出(3)：AIの病理診断、AIの内視鏡検査、AIとウイルス検査、創薬AI、AIドクター
		【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。
	第8回	【授業内容】自動翻訳と自動運転：翻訳精度の大幅アップ、自動運転車のレベル分け、自動運転車は渋滞しないか 運転の3要素「認識」「判断」「操作」動翻訳では、単語を数値に変換する
		【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。
	第9回	【授業内容】AIの仕事と弱点：フレーム問題、シンボルグラウンディング問題、AIの創造性
		【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。

	<p>第10回</p> <p>【授業内容】セキュリティとプライバシー（1）：AIがだまされても人は気づけない、AIに求められる公平性</p> <p>【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。</p>
	<p>第11回</p> <p>【授業内容】セキュリティとプライバシー（2）：データ利用とプライバシー侵害、AIに「倫理観」をもたせるか</p> <p>【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。</p>
	<p>第12回</p> <p>【授業内容】AIと教育（1）：AIと学習法、機械学習と現代の教育、プログラミング教育</p> <p>【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。</p>
	<p>第13回</p> <p>【授業内容】AIと教育（2）：AIの弱点と人間の強み、AIと融合する教育</p> <p>【事前事後学修】教科書の該当部分を事前に読了し(2時間)、事後に理解したことをまとめる(2時間)。</p>
	<p>第14回</p> <p>【授業内容】AIの未来（1）：シンギュラリティ（2045年問題）、人間にしかできない仕事はないか</p> <p>【事前事後学修】教科書・参考書の該当部分を事前に読了し(3時間)、事後にまとめる(1時間)。</p>
	<p>第15回</p> <p>【授業内容】AIの未来（2）：汎用AI、人間とAIの調和、常識や意識および感情の問題</p> <p>【事前事後学修】教科書・参考書の該当部分を事前に読了し(3時間)、事後にまとめる(1時間)。</p>
到達目標	人工知能（AI）の考え方や概念を把握したうえで、AIの弱みや、AIを用いた問題解決の特徴と問題点等を理解し、AIの一般的な活用や社会的影響に関する考察ができるようになる。
ディプロマポリシー	DP1-1 基本的な学力 DP2-1 コミュニケーション力 DP2-2 情報収集・活用力 DP4-2 創造的思考力 DP4-3 問題解決力
学生へのフィードバック	授業で全体に向けてフィードバック、また提出されたレポートにコメントをつけてフィードバックを行う。
授業/ALの進め方	講義中心型の授業。授業の最後10分間は質疑応答の時間なので、講義で分からなかったところはその時間を使いなるべく解消するようにしてください。
利用するICT機器	パソコン、インターネット、ネットワーク機器
成績評価	【評価方法】平常点30%、授業内レポート30%、定期試験40%。授業内レポートは毎回課す。 【評価基準】授業への参加における意欲と積極性、授業内レポートの形式と内容、授業の到達目標の達成の適切さについて評価する。 全授業を通して5回以上欠席した場合は評価の対象外となる。
教科書	松尾豊（2019）『ニュートン式 超図解 最強に面白い!! 人工知能 ディープラーニング編』ニュートンプレス。
参考書	小原豊・金児正史・北島茂樹（2024）『実践事例で学ぶ生成AIと創る未来の教育』東洋館出版社；NEWTON別冊（2022）『ゼロからわかる人工知能 完全版』ニュートンプレス；荒屋真二（2004）『人工知能概論 第2版—コンピュータ知能からWeb知能まで』共立出版；小林一郎（2018）『人工知能の基礎 (Computer Science Library)』サイエンス社；かんようこ（2018）『マンガでわかる！人工知能 AIは人間に何をもちたらずのか』SBクリエイティブ。
受講学生へ	本講義では、授業の中で議論や意見交換の場を設けるので積極的な発言や参加に期待する。また、参考資料に基づいて自分の意見や考えを簡潔にまとめて記述する演習も適宜行う。

教育課程表

教育学部教育学科

- ・『専攻別必修科目』の『◎』を全て修得すること。
- ・その他、『専攻別必修科目』『専攻別必修科目の修得方法』に従い、修得すること。
- ・『教育課程表』の最後にある『卒業要件』を全て満たすこと。

科目区分	授業科目の名称	開講年次	授業期間	単位数		専攻別必修科目					専攻別必修科目の修得方法	ナンバリング	
				必修	選択	初等教育専攻	中等教育専攻 (英語)	中等教育専攻 (国語)	中等教育専攻 (社会)	地歴			公民
英語	英語A I	1	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG101	
	英語A II	1	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG201	
	英語B I	1	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG102	
	英語B II	1	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG202	
	英語C I	1	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG103	
	英語C II	1	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG203	
	英語D I	2	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG301	
	英語D II	2	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG302	
	英語E I	2	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG303	
	英語E II	2	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		ENG304	
	英語F I	2・3・4	半期	1								ENG305	
	英語F II	2・3・4	半期	1								ENG306	
	英語G I	2・3・4	半期	1								ENG307	
	英語G II	2・3・4	半期	1								ENG308	
論理的思考 表現的思考	論理的思考法	1	半期		2							LAS101	
	論理的表現法	1	半期		2							LAS201	
	プレゼンテーションA (日本語)	1	半期		2							LAS202	
	プレゼンテーションB (English)	2・3・4	半期		2							LAS301	
共通科目 リベラルアーツ基礎	人文科学	哲学	1・2・3・4	半期		2						【教育学部共通】 『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位修得すること。	LAS102
		倫理学	1・2・3・4	半期		2							LAS103
		宗教学	1・2・3・4	半期		2							LAS203
		心理学概論	1・2・3・4	半期		2							LAS104
		芸術学	1・2・3・4	半期		2							LAS105
		言語学	1・2・3・4	半期		2							LAS106
		日本文学史	1・2・3・4	半期		2							LAS107
		史学概論	1・2・3・4	半期		2							LAS204
	社会科学	憲法	1・2	半期		2							LAS108
		法学	1・2・3・4	半期		2							LAS109
		政治学	1・2・3・4	半期		2							LAS205
		経済学	1・2・3・4	半期		2							LAS110
		経営学	1・2・3・4	半期		2							LAS111
		社会学	1・2・3・4	半期		2							LAS112
	自然科学	生物学	1・2・3・4	半期		2							LAS113
		人間工学	1・2・3・4	半期		2							LAS206
		物理学	1・2・3・4	半期		2							LAS207
		地球科学	1・2・3・4	半期		2							LAS114
		環境学	1・2・3・4	半期		2							LAS208
		数学	1・2・3・4	半期		2							LAS209
	外国語	英語特講 I	1・2・3・4	半期		1							LAS115
		英語特講 II	1・2・3・4	半期		1							LAS210
		英語特講 III	1・2・3・4	半期		1							LAS116
		英語特講 IV	1・2・3・4	半期		1							LAS211
ドイツ語 I		1・2	半期		1						LAS117		
ドイツ語 II		1・2	半期		1						LAS212		
フランス語 I		1・2	半期		1						LAS118		
フランス語 II		1・2	半期		1						LAS213		
中国語	中国語 I	1・2	半期		1						LAS119		
	中国語 II	1・2	半期		1						LAS214		
スポーツ 健康	スポーツ実技 I	1	半期		1						LAS120		
	スポーツ実技 II	1	半期		1						LAS215		
	健康づくり運動論	2・3・4	半期		2						LAS302		
情報	AI概論	1・2・3・4	半期		2		◎	◎	◎	◎		LAS216	
	情報機器の操作 I	1	半期		2		◎	◎	◎	◎		LAS121	
	情報機器の操作 II	1	半期		2						LAS217		
	データサイエンス概論 A	1・2・3・4	半期		2						LAS123		
	データサイエンス概論 B	1・2・3・4	半期		2						LAS218		
	データ処理概論	1	半期		2						LAS122		
情報倫理	2・3・4	半期		2						LAS303			
	他学部開放科目	—	—	—	—						—		

科目区分	授業科目の名称	開講年次	授業期間	単位数		専攻別必修科目					専攻別必修科目の修得方法	ナンバリング		
				必修	選択	初等教育専攻	中等教育専攻(英語)	中等教育専攻(国語)	中等教育専攻(社会)	地歴			公民	
専 門 科 目	教育の基礎	教育学概論	1	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎	英  国  社①	【中等教育専攻(英語)】 『○』から6単位以上修得すること。	EBS101
		教職論	1	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎		EBS102	
		教育行政学	1	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎		EBS201	
		教育方法論Ⅰ(情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む)	1	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎		【中等教育専攻(国語)】 『○』から6単位以上修得すること。	EBS202
		教育方法論Ⅱ	2	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎		EBS301	
		特別な教育的ニーズの理解と支援	2	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎		EBS302	
		教育時事問題	3	半期	2			○	○	□	□		【中等教育専攻(社会)】 『□』から6単位以上修得すること。	EBS303
		青少年と国際教育	3	半期	2			○	○				EBS304	
		教育を支える心理学	心身の発達と学習過程	1	半期	2		◎	◎	◎	◎		◎	
	教育心理学		1	半期	2							EPY202		
	発達心理学		1	半期	2							EPY203		
	青年心理学		1	半期	2							EPY101		
	社会心理学		1	半期	2							EPY102		
	学校心理学		2	半期	2							EPY301		
	発達支援論		2	半期	2							EPY302		
	障がい児・者の心理学		2	半期	2							EPY303		
	家族心理学		2	半期	2							EPY304		
	教育者としての専門性	道徳教育の理論と方法	2	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎		ECS301	
		総合的な学習の時間の指導法(教育課程論を含む)	2	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎	ECS302		
		特別活動の理論と方法	1	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎	ECS201		
		生徒指導と教育相談	3	半期	2		◎	◎	◎	◎	◎	ECS303		
		進路指導	3	半期	1		◎	◎	◎	◎	◎	ECS304		
		教育における調査と統計	3	半期	2			○	○			ECS305		
		国際バカロレア教育研究	3	半期	2			○	○			ECS401		
		ボランティア活動	3	半期	1							ECS402		
		児童教育の専門科目	国語科教育研究(書写を含む)	2	半期	2		◎					初 【初等教育専攻】 以下の①～④のいずれかの組み合わせで、10単位以上修得すること。 『教員免許状の取得を希望しない学生』・『小学校教諭一種免許状の取得のみを希望する学生』は、①を選択すること。  ①『児童教育の専門科目』の『●』から5科目10単位を修得 ②『英語教育の専門科目』の『▲』から7科目10単位を修得 ③『国語教育の専門科目』の『■』から5科目10単位を修得 ④『社会科教育の専門科目』の『◆』から5科目10単位を修得	CES301
	社会科教育研究		2	半期	2		◎					CES302		
	算数科教育研究		2	半期	2		◎					CES303		
	理科教育研究		1	半期	2		◎					CES201		
	生活科教育研究		2	半期	2		●					CES304		
	音楽科教育研究		1	半期	2		●					CES202		
	図画工作科教育研究		2	半期	2		●					CES305		
	家庭科教育研究		2	半期	2		●					CES306		
	体育科教育研究		1	半期	2		◎					CES203		
	英語科教育研究		2	半期	2		●					CES307		
	SDGsと教育	3	半期	2		◎					CES308			
専 門 科 目	英語教育の専門科目	英語学概論	1	半期	2		▲	◎				EES201		
		英文法	2	半期	2			◎				EES301		
		英語文学A	3	半期	2		▲	◎				EES302		
		英語文学B	3	半期	2			◎				EES401		
		イギリスの文学	1	半期	2			○				EES202		
		アメリカの文学	1	半期	2			○				EES101		
		Reading A	2	半期	1		▲	◎				EES303		
		Reading B	2	半期	1			◎				EES304		
		Writing A	2	半期	1		▲	◎				EES305		
		Writing B	2	半期	1			◎				EES306		
		Listening A	2	半期	1		▲	◎				EES307		
		Listening B	2	半期	1			◎				EES308		
		Speaking A	2	半期	1		▲	◎				EES309		
		Speaking B	2	半期	1			◎				EES310		
		異文化の理解に向けて	2	半期	2		▲	◎				EES311		
		英語圏の国々の歴史と文化	3	半期	2			◎				EES402		
		イギリスの生活と文化	1	半期	2			○				EES203		
		アメリカの生活と文化	1	半期	2			○				EES102		
		ヨーロッパの生活と文化A	3	半期	2			○				EES312		
		ヨーロッパの生活と文化B	3	半期	2			○				EES403		

科目区分	授業科目の名称	開講年次	授業期間	単位数		専攻別必修科目				専攻別必修科目の修得方法	ナンバリング		
				必修	選択	初等教育専攻	中等教育専攻 (英語)	中等教育専攻 (国語)	中等教育専攻 (社会)			地歴	公民
専門科目	国語教育の専門科目	国語学概論	1	半期		2	■		◎				JLS201
		日本語の表現	2	半期		2			◎				JLS301
		日本語文章法	2	半期		2			◎				JLS302
		日本語のレトリック	3	半期		2			○				JLS303
		国文学史A	1	半期		2			◎				JLS101
		国文学史B	1	半期		2			◎				JLS202
		日本の古典文学A	2	半期		2	■		◎				JLS304
		日本の古典文学B	3	半期		2			○				JLS305
		日本の近代文学A	2	半期		2	■		◎				JLS306
		日本の近代文学B	3	半期		2			○				JLS307
		中国の文学	2	半期		2			◎				JLS308
		漢文学Ⅰ	2	半期		2	■		◎				JLS309
		漢文学Ⅱ	3	半期		2			◎				JLS310
書道	1	半期		2	■		◎				JLS203		
専門科目	地理歴史領域	日本史概説Ⅰ	1	半期		2	◆		◎	◎	社②	【中等教育専攻(社会)(地理歴史コース選択者)】	SSS201
		日本史概説Ⅱ	2	半期		2			◎	◎		【★】から2単位修得すること。	SSS301
		日本史資料論	2	半期		2			◇				SSS302
		日本地域史研究	2	半期		2			◇				SSS303
		日本史特論Ⅰ	2	半期		2			◇				SSS304
		日本史特論Ⅱ	3	半期		2			◇		社③	【中等教育専攻(社会)(地理歴史コース選択者)】	SSS305
		世界史概説	1	半期		2			◎	◎		【社会科教育の専門科目・地理歴史領域】の【◇】から6単位修得すること。	SSS202
		ヨーロッパ近現代史	2	半期		2			◇			【★】から4単位修得した場合、うち2単位を【◇】6単位に計上することができる	SSS306
		日韓近現代史	2	半期		2			◇				SSS307
		外国史特論Ⅰ	2	半期		2			★				SSS308
		外国史特論Ⅱ	3	半期		2			★				SSS309
		国際関係史(欧州を中心に)	2	半期		2			◇				SSS310
		多文化主義の地理・歴史	2	半期		2			◇				SSS311
		地理学概説	1	半期		2	◆		◎	◎			SSS203
		人文地理学	2	半期		2			◎				SSS312
		自然地理学	2	半期		2			◎				SSS313
		地理学フィールド研究	2	半期		2			◎				SSS314
		地域問題の地理的研究	2	半期		2			◇				SSS315
		文化人類学	1・2・3・4	半期		2			◇				SSS101
		地誌学	2	半期		2			◎	◎			SSS316
	歴史総合論	3	半期		2			◇				SSS401	
	地理総合論	3	半期		2			◇				SSS317	
	ESD-SDGs特論Ⅰ	2	半期		2			◇				SSS318	
	国際バカロレア特論Ⅰ	2	半期		2			◇				SSS319	
	公民領域	法律学概説(国際法を含む)	2	半期		2			◎	◎	社④	【中等教育専攻(社会)(公民コース選択者)】	SSS320
		政治学概説	2	半期		2	◆		◎	◎		【社会科教育の専門科目・公民領域】の【◇】から8単位を修得すること。	SSS321
		国際政治学	2	半期		2			◎	◎			SSS322
		現代政治理論	2	半期		2			◇				SSS323
		政治コミュニケーション論	2	半期		2			◇				SSS324
		マイノリティと人権	2	半期		2			◇				SSS325
		社会学概説	2	半期		2	◆		◎	◎			SSS326
		経済学概説(国際経済を含む)	2	半期		2			◎	◎			SSS327
		現代リスク社会論	2	半期		2			◇				SSS328
		大衆文化論	2・3・4	半期		2			◇				SSS329
		社会学特論	2	半期		2			◇				SSS330
		情報社会とメディア	2	半期		2			◇				SSS331
		社会調査法	2	半期		2			◇				SSS332
		日本経済論	2・3・4	半期		2			◇				SSS333
		哲学概説	1	半期		2	◆		◎	◎			SSS204
		倫理学特論	2	半期		2			◎				SSS334
哲学原典講読		2	半期		2			◇				SSS335	
差別の哲学		2	半期		2			◇				SSS336	
応用哲学		2	半期		2			◇				SSS337	
宗教人類学		2・3・4	半期		2			◇				SSS338	
人間形成とキャリア教育論	2	半期		2			◇				SSS339		
公共総合論	3	半期		2			◇				SSS402		
ESD-SDGs特論Ⅱ	3	半期		2			◇				SSS403		
国際バカロレア特論Ⅱ	2	半期		2			◇				SSS404		
その他	中等社会科探究学習論Ⅰ(地理歴史領域)	3	半期		2			◎	□			SSS341	
	中等社会科探究学習論Ⅱ(公民領域)	3	半期		2			□	◎			SSS342	
	中等社会科教材論Ⅰ(地理歴史領域)	3	半期		2			□	□			SSS404	
	中等社会科教材論Ⅱ(公民領域)	3	半期		2			□	□			SSS405	
	比較教育論	2	半期		2			□	□			SSS343	

科目区分	授業科目の名称	開講年次	授業期間	単位数		専攻別必修科目					専攻別必修科目の修得方法	ナンバリング		
				必修	選択	初等教育専攻	中等教育専攻(英語)	中等教育専攻(国語)	中等教育専攻(社会)	地歴			公民	
専門科目	小学校	初等教科教育法(国語)	3	半期		2	◎						TCS401	
		初等教科教育法(社会)	3	半期		2	◎						TCS301	
		初等教科教育法(算数)	2	半期		2	◎						TCS302	
		初等教科教育法(理科)	2	半期		2	◎						TCS303	
		初等教科教育法(生活)	3	半期		2	◎						TCS304	
		初等教科教育法(音楽)	2	半期		2	◎						TCS305	
		初等教科教育法(図画工作)	3	半期		2	◎						TCS402	
		初等教科教育法(家庭)	3	半期		2	◎						TCS306	
		初等教科教育法(体育)	3	半期		2	◎						TCS307	
	初等教科教育法(英語)	3	半期		2	◎						TCS308		
	中学校・高等学校	英語	英語科教育法I	2	半期		2	◎						TCS309
			英語科教育法II	2	半期		2	◎						TCS310
			英語科教育法III	3	半期		2	◎						TCS311
			英語科教育法IV	3	半期		2	◎						TCS403
		国語	国語科教育法I	2	半期		2			◎				TCS312
			国語科教育法II	2	半期		2			◎				TCS313
			国語科教育法III	3	半期		2			◎				TCS314
			国語科教育法IV	3	半期		2			◎				TCS404
		社会科	中等社会科教育法I	2	半期		2				◎	◎		TCS315
			中等社会科教育法III	3	半期		2				◎	◎		TCS316
	史地理領域	中等社会科・地理歴史科教育法研究I	3	半期		2				◎			TCS317	
		中等社会科・地理歴史科教育法研究II	3	半期		2				◎			TCS405	
	公民	中等社会科教育法II	2	半期		2				◎	◎		TCS318	
		中等社会科・公民科教育法研究	3	半期		2					◎		TCS406	
	小学校・中学校・高等学校	教育実習I [小・中]	4	通年		2							※教員免許状を取得する学生は、「教職科目・小学校・中学校・高等学校」から必要単位数を修得すること。	
		教育実習II [小・中]	4	通年		2							TCS408	
		教育実習III [中・高]	4	通年		2							TCS409	
		教育実習IV [中・高]	4	通年		2							TCS410	
		教育実習V [小]	4	通年		2							TCS411	
		教育実習事前事後指導I [小・中]	4	通年		1							TCS412	
		教育実習事前事後指導II [中・高]	4	通年		1							TCS413	
	教職実践演習 [小・中・高]	4	半期		2							TCS501		
	ゼミナール	ゼミナールI	1	通年	2		◎	◎	◎	◎	◎		SEM101	
		ゼミナールII	2	通年	2		◎	◎	◎	◎	◎		SEM301	
		ゼミナールIII	3	通年	4		◎	◎	◎	◎	◎		SEM302	
		ゼミナールIV	4	通年	4		◎	◎	◎	◎	◎		SEM401	

【卒業要件】

A. 全専攻共通

- (1) 必修46単位を全て修得し、選択科目から80単位以上を修得のうえ、126単位以上を修得すること。
- (2) 『リベラルアーツ基礎』の人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上6単位を修得すること。
- (3) 『専攻別必修科目』から、自身が所属する専攻(中等教育専攻(社会)については、「地歴」「公民」のどちらか一方を選択すること)に定める『◎』の単位をすべて修得すること。
- (4) 『専攻別必修科目』及び『専攻別必修科目の修得方法』をよく確認し、すべての要件を満たすよう履修すること。これについては、専攻別に以下のとおり要件を定める。

B. 初等教育専攻

- (5) 以下の①～④のいずれかの組み合わせで、10単位以上修得すること。『教員免許状の取得を希望しない学生』・『小学校教諭一種免許状の取得のみを希望する学生』は、①を選択すること。
  - ①『児童教育の専門科目』の『●』から5科目10単位を修得
  - ②『英語教育の専門科目』の『▲』から7科目10単位を修得
  - ③『国語教育の専門科目』の『■』から5科目10単位を修得
  - ④『社会科教育の専門科目』の『◆』から5科目10単位を修得

C. 中等教育専攻(英語)(国語)

- (6) 『○』から6単位以上修得すること。

D. 中等教育専攻(社会)地理歴史コース選択者

- (7) 『□』から6単位以上修得すること。
- (8) 『★』から2単位修得すること(=「外国史特論I」「外国史特論II」のいずれか一方を必ず修得すること)。
- (9) 『社会科教育の専門科目・地理歴史領域』の『◇』から6単位修得すること。なお、(8)で『★』から4単位修得した場合は、うち2単位を『◇』6単位に計上することができる。

E. 中等教育専攻(社会)公民コース選択者

- (10) 『□』から6単位以上修得すること。
- (11) 『社会科教育の専門科目・公民領域』の『◇』から8単位を修得すること。

教育課程表

国際教養学部国際教養学科

科目区分	授業科目の名称	開講年次	授業期間	単位数		科目ナンバリング	備考	
				必修	選択			
英語	英語A I	1	半期	1		ENG101		
	英語A II	1	半期	1		ENG102		
	英語B I	1	半期	1		ENG103		
	英語B II	1	半期	1		ENG104		
	英語C I	1	半期	1		ENG105		
	英語C II	1	半期	1		ENG106		
	英語D I	2	半期	1		ENG201		
	英語D II	2	半期	1		ENG202		
	英語E I	2	半期	1		ENG203		
	英語E II	2	半期	1		ENG204		
	英語F I	2・3・4	半期		1	ENG205		
	英語F II	2・3・4	半期		1	ENG206		
	英語G I	2・3・4	半期		1	ENG207		
	英語G II	2・3・4	半期		1	ENG208		
日本語	日本語A I	1	半期	1		JAP101	留学生用	
	日本語A II	1	半期	1		JAP102	留学生用	
	日本語B I	1	半期	1		JAP103	留学生用	
	日本語B II	1	半期	1		JAP104	留学生用	
	日本語C I	1	半期	1		JAP105	留学生用	
	日本語C II	1	半期	1		JAP106	留学生用	
	日本語D I	2	半期	1		JAP201	留学生用	
	日本語D II	2	半期	1		JAP202	留学生用	
日本語E I	2	半期	1		JAP203	留学生用		
日本語E II	2	半期	1		JAP204	留学生用		
論理的思考/表現	論理的思考法	1	半期		2	LAS132		
	論理的表現法	1	半期		2	LAS133		
	プレゼンテーションA (日本語)	1	半期		2	LAS146		
	プレゼンテーションB (English)	2・3・4	半期		2	LAS205		
共通科目	人文科学	哲学	1・2・3・4	半期		2	LAS101	※リベラルアーツ基礎の選択科目として、人文科学・社会科学・自然科学・外国語の4分野の中から3分野以上10単位履修する。
		倫理学	1・2・3・4	半期		2	LAS102	
		宗教学	1・2・3・4	半期		2	LAS103	
		心理学概論	1・2・3・4	半期		2	LAS104	
		芸術学	1・2・3・4	半期		2	LAS105	
		言語学	1・2・3・4	半期		2	LAS106	
		日本文学史	1・2・3・4	半期		2	LAS134	
	史学概論	1・2・3・4	半期		2	LAS107		
	社会科学	憲法	1・2・3・4	半期		2	LAS108	
		法学	1・2・3・4	半期		2	LAS109	
		政治学	1・2・3・4	半期		2	LAS110	
		経済学	1・2・3・4	半期		2	LAS111	
		経営学	1・2・3・4	半期		2	LAS112	
	社会学	1・2・3・4	半期		2	LAS113		
自然科学基礎	生物学	1・2・3・4	半期		2	LAS114		
	人間工学	1・2・3・4	半期		2	LAS115		
	物理学	1・2・3・4	半期		2	LAS116		
	地球科学	1・2・3・4	半期		2	LAS117		
	環境学	1・2・3・4	半期		2	LAS118		
数学	1・2・3・4	半期		2	LAS119			
外国語	英語特講 I	1・2・3・4	半期		1	LAS142		
	英語特講 II	1・2・3・4	半期		1	LAS143		
	英語特講 III	1・2・3・4	半期		1	LAS144		
	英語特講 IV	1・2・3・4	半期		1	LAS145		
	ドイツ語 I	1・2	半期		1	LAS120		
	ドイツ語 II	1・2	半期		1	LAS121		
	フランス語 I	1・2	半期		1	LAS122		
フランス語 II	1・2	半期		1	LAS123			
中国語 I	1・2	半期		1	LAS124			
中国語 II	1・2	半期		1	LAS125			

科目区分	授業科目の名称		開講年次	授業期間	単位数		科目ナンバリング	備考	
					必修	選択			
共通科目	リベラルアーツ基礎	外国語	中国語会話Ⅰ	2・3・4	半期		1	LAS147	週2回(初級、留学生用) 週2回(中級、留学生用) 週2回(交換留学生用) 週2回(交換留学生用)
			中国語会話Ⅱ	2・3・4	半期		1	LAS206	
		Intensive English for Foreign StudentsⅠ	1・2・3・4	半期		2	LAS126		
		Intensive English for Foreign StudentsⅡ	1・2・3・4	半期		2	LAS127		
		Intensive Japanese for International Exchange Students A	1・2・3・4	半期		2	LAS128		
		Intensive Japanese for International Exchange Students B	1・2・3・4	半期		2	LAS129		
	キャリア	キャリアデザインⅠ	1	半期		2	LAS135		
		キャリアデザインⅡ	2	半期		2	LAS201		
		キャリアデザインⅢ	3	半期		2	LAS301		
		キャリアデザインⅣ	3	半期		2	LAS302		
		インターンシップ	3・4	通年		2	LAS303		
	スポーツ/健康	スポーツ実技Ⅰ	1	半期		1	LAS136		
		スポーツ実技Ⅱ	1	半期		1	LAS137		
		健康づくり運動論	2・3・4	半期		2	LAS138		
	情報	AⅠ概論	1・2・3・4	半期		2	LAS131		
		ICTの活用Ⅰ	1	半期		2	LAS139		
		ICTの活用Ⅱ	1	半期		2	LAS140		
		データ処理概論	1	半期		2	LAS141		
		情報倫理	2・3・4	半期		2	LAS204		
専門科目A	総合講座	Human Studies特論	1	半期	2		ILA101	※選択科目として、『国際事情/総合講座』の演習科目の中から2単位履修する。	
		Social Studies特論	1	半期	2		ILA102		
		Local&Regional Studies 特論	2	半期	2		ILA201		
		Global Studies特論	2	半期	2		ILA202		
		グローバル・コミュニケーション演習	3・4	半期		2	ILA307		
		グローバル・カルチャー演習	3・4	半期		2	ILA308		
		グローバル・ビジネス演習	3・4	半期		2	ILA309		
		ヒューマン・イノベーション演習	3・4	半期		2	ILA310		
	国際事情	社会と文化	イギリスの社会と文化	1・2・3・4	半期	2		ILA103	※選択科目として、『国際事情/社会と文化』の中から4単位履修する。
		アメリカの社会と文化	1・2・3・4	半期	2		ILA104		
		ドイツの社会と文化	1・2・3・4	半期	2		ILA105		
		フランスの社会と文化	1・2・3・4	半期	2		ILA106		
		ロシアの社会と文化	1・2・3・4	半期	2		ILA107		
		インドの社会と文化	1・2・3・4	半期	2		ILA108		
		中国の社会と文化	1・2・3・4	半期	2		ILA109		
	現代日本の社会と文化	1・2・3・4	半期	2		ILA110			
	海外研修	Field Study TripⅠ	1	通年		2		ILA208	※選択科目として、『Field Study TripⅠ』もしくは『Field Study TripⅡ』を履修するか、上記で履修した授業科目以外で『国際事情/総合講座』の演習科目の中から2単位履修する。
		Field Study TripⅡ	2	通年		2		ILA212	
		海外研修AⅠ	1・2・3・4	通年		1		ILA111	
		海外研修AⅡ	1・2・3・4	通年		2		ILA209	
		海外研修AⅢ	1・2・3・4	通年		2		ILA304	
		海外研修BⅠ	1・2・3・4	通年		1		ILA112	
		海外研修BⅡ	1・2・3・4	通年		2		ILA210	
海外研修BⅢ		1・2・3・4	通年		2		ILA305		
海外研修CⅠ		1・2・3・4	通年		1		ILA113		
海外研修CⅡ	1・2・3・4	通年		2		ILA211			
海外研修CⅢ	1・2・3・4	通年		2		ILA306			
ゼミナール	入門演習Ⅰ	1	通年	2			SEM101	卒業研究を含む	
	入門演習Ⅱ	2	通年	2			SEM102		
	ゼミナールⅠ	3	半期	2			SEM201		
	ゼミナールⅡ	3	半期	2			SEM301		
	ゼミナールⅢ	4	半期	2			SEM401		
ゼミナールⅣ	4	半期	2			SEM402			

科目 区分	授業科目の名称	開講年次	授業期間	単位数		科目 ナンバリング	備考	
				必修	選択			
専門科目B	グローバル・コミュニケーション基礎	コミュニケーション論	1・2・3・4	半期		2	COM101	
		異文化コミュニケーション	2・3・4	半期		2	COM201	
		言語と社会	2・3・4	半期		2	COM202	
		メディアリテラシー	1・2・3・4	半期		2	COM102	
		マスコミュニケーション論	1・2・3・4	半期		2	COM103	
		メディア文化論	2・3・4	半期		2	COM203	
		Public Speaking	2・3・4	半期		2	COM204	
		Practical Reading	1・2・3・4	半期		2	COM104	
		The Power of Writing	1・2・3・4	半期		2	COM105	
		Active Listening	1・2・3・4	半期		2	COM106	
		Academic English	2・3・4	半期		2	COM205	
		Skills of Debate	2・3・4	半期		2	COM206	
		Skills of Discussion	2・3・4	半期		2	COM207	
		Skills of Negotiation	2・3・4	半期		2	COM208	
		English through Content	2・3・4	半期		2	COM209	
	レトリック論	3・4	半期		2	COM301		
	グローバル・コミュニケーション応用	日英翻訳演習	3・4	半期		2	COM302	
		日英通訳演習	3・4	半期		2	COM303	
		Media English	2・3・4	半期		2	COM210	
		World Heritage	2・3・4	半期		2	COM211	
		Tourism Industry	2・3・4	半期		2	COM212	
		Business English	2・3・4	半期		2	COM213	
		観光地の歴史と地理	2・3・4	半期		2	COM214	
		Japanology	2・3・4	半期		2	COM215	
		Japanese Affairs	2・3・4	半期		2	COM216	
		Tourism and Cultural Exchange	2・3・4	半期		2	COM217	
		ホスピタリティ論	2・3・4	半期		2	COM218	
		Intercultural Experiences	2・3・4	半期		2	COM219	
		メディア編集	3・4	半期		2	COM304	
		マスコミュニケーション演習	3・4	半期		2	COM305	
		グローバル・カルチャー	文化理解	文化人類学	1・2・3・4	半期		2
	フィールドワーク			2・3・4	半期		2	CUL201
	社会学特論			2・3・4	半期		2	CUL223
	地域社会学			2・3・4	半期		2	CUL204
	比較芸術論			1・2・3・4	半期		2	CUL205
宗教人類学	2・3・4			半期		2	CUL301	
死生学	2・3・4			半期		2	CUL302	
ジェンダー研究	2・3・4			半期		2	CUL206	
エスニシティ研究	2・3・4			半期		2	CUL207	
表象文化論	2・3・4			半期		2	CUL305	
地域研究	大衆文化論		2・3・4	半期		2	CUL303	
	身体文化論		2・3・4	半期		2	CUL304	
	精神分析と文化		2・3・4	半期		2	CUL316	
	比較文化心理学		2・3・4	半期		2	CUL208	
	比較文明論		2・3・4	半期		2	CUL306	
	日本のサブカルチャー		1・2・3・4	半期		2	CUL210	
	Japanese Society and Culture		2・3・4	半期		2	CUL211	
	Japanese Politics		2・3・4	半期		2	CUL212	
	日本文化史		1・2・3・4	半期		2	CUL224	
	ヨーロッパ近現代史		2・3・4	半期		2	CUL214	
アジア近現代史	2・3・4	半期		2	CUL216			
東南アジア地域研究	2・3・4	半期		2	CUL217			
中東・イスラーム研究	2・3・4	半期		2	CUL307			
中南米地域研究	2・3・4	半期		2	CUL317			
アフリカ地域研究	2・3・4	半期		2	CUL308			
社会調査法	2・3・4	半期		2	CUL202			

科目区分	授業科目の名称	開講年次	授業期間	単位数		科目ナンバリング	備考
				必修	選択		
グローバル・カルチャー	グローバル歴史	2・3・4	半期		2	CUL309	
	国際政治学	2・3・4	半期		2	CUL310	
	International Relations	1・2・3・4	半期		2	CUL218	
	Global Citizenship	2・3・4	半期		2	CUL222	
	国際法	2・3・4	半期		2	CUL311	
	SDGs特論	1・2・3・4	半期		2	CUL219	
	国際開発論	2・3・4	半期		2	CUL312	
	International Migration	2・3・4	半期		2	CUL313	
	国際機構論	3・4	半期		2	CUL314	
	国際社会学	2・3・4	半期		2	CUL315	
	環境社会学	2・3・4	半期		2	CUL221	
経済	経済学Ⅰ	1・2・3・4	半期		2	BSN201	
	経済学Ⅱ	1・2・3・4	半期		2	BSN202	
	日本経済論	2・3・4	半期		2	BSN203	
	Current Issues in the Japanese Economy	2・3・4	半期		2	BSN204	
	経済学史	2・3・4	半期		2	BSN205	
	地域経済	2・3・4	半期		2	BSN206	
	金融論	1・2・3・4	半期		2	BSN207	
	国際金融論	3・4	半期		2	BSN302	
	国際経済学	2・3・4	半期		2	BSN208	
	Current Issues in the World Economy	2・3・4	半期		2	BSN209	
	ヨーロッパ経済とビジネス	2・3・4	半期		2	BSN303	
	アジア経済とビジネス	2・3・4	半期		2	BSN304	
	経済政策論	2・3・4	半期		2	BSN301	
経営	経営戦略論	2・3・4	半期		2	BSN315	
	経営管理論	2・3・4	半期		2	BSN211	
	経営組織論	2・3・4	半期		2	BSN305	
	人的資源管理論	2・3・4	半期		2	BSN212	
	企業の社会的責任	3・4	半期		2	BSN306	
	アントルプレナー論	3・4	半期		2	BSN307	
	コーポレートファイナンス	3・4	半期		2	BSN308	
	貿易実務	2・3・4	半期		2	BSN215	
	マーケティング論	1・2・3・4	半期		2	BSN214	
	簿記入門	1・2・3・4	半期		2	BSN101	
	簿記実務特講	3・4	半期		2	BSN218	
	会計学	1・2・3・4	半期		2	BSN102	
	経営情報論	2・3・4	半期		2	BSN219	
グローバルビジネス論	1・2・3・4	半期		2	BSN217		
産業・組織心理学	2・3・4	半期		2	BSN220		
パブリック	公共経営論	2・3・4	半期		2	BSN221	
	公共政策論	2・3・4	半期		2	BSN222	
	行政法	2・3・4	半期		2	BSN216	
	ビジネスと法	2・3・4	半期		2	BSN309	
	NPO経営戦略論	3・4	半期		2	BSN316	
	ソーシャルファイナンス論	3・4	半期		2	BSN311	
	観光政策論	2・3・4	半期		2	BSN223	
	スポーツマネジメント論	3・4	半期		2	BSN312	
	関係行政論	2・3・4	半期		2	BSN224	
	公共の福祉と心の健康（公認心理師の職責）	1・2・3・4	半期		2	BSN103	
	福祉関係論（福祉心理学）	2・3・4	半期		2	BSN225	
	司法・犯罪関係論（司法・犯罪心理学）	2・3・4	半期		2	BSN226	
	健康・医療論（健康・医療心理学）	2・3・4	半期		2	BSN227	
教育・学校関係論（教育・学校心理学）	2・3・4	半期		2	BSN313		
障害者・障害児心理学	2・3・4	半期		2	BSN314		

科目区分	授業科目の名称	開講年次	授業期間	単位数		科目ナンバリング	備考	
				必修	選択			
専門科目B	ヒューマンサイエンス	心理学研究法A	1・2・3・4	半期		2	INV101	
		心理学研究法B	1・2・3・4	半期		2	INV102	
		臨床心理学概論	2・3・4	半期		2	INV201	
		社会・集団・家族心理学A	1・2・3・4	半期		2	INV103	
		社会・集団・家族心理学B	2・3・4	半期		2	INV301	
		発達心理学	1・2・3・4	半期		2	INV104	
		感情・人格心理学	2・3・4	半期		2	INV202	
		心理的アセスメント	2・3・4	半期		2	INV302	
		精神疾患とその治療	2・3・4	半期		2	INV303	
		心理学的支援法	2・3・4	半期		2	INV304	
		人体の構造と機能及び疾病	2・3・4	半期		2	INV305	
		心理演習A	2・3・4	通年		4	INV306	
		心理演習B	2・3・4	通年		4	INV307	
		心理実習	3・4	通年		3	INV401	
		知覚・認知心理学A	2・3・4	半期		2	INV203	
		知覚・認知心理学B	2・3・4	半期		2	INV308	
		神経・生理心理学	2・3・4	半期		2	INV309	
		心理学実験Ⅰ	2・3・4	半期		3	INV204	
		心理学実験Ⅱ	2・3・4	半期		2	INV205	
		学習・言語心理学	2・3・4	半期		2	INV310	
	行動経済学	3・4	半期		2	INV311		
	環境心理学	3・4	半期		2	INV206		
	ヒューマン・イノベーション	データサイエンス	情報システム論	2・3・4	半期		2	INV207
			情報セキュリティ管理論	1・2・3・4	半期		2	INV105
			情報イノベーション	3・4	半期		2	INV312
			IoTプログラミング演習	2・3・4	半期		2	INV313
			ネットワーク論	2・3・4	半期		2	INV208
			データサイエンス概論A	1・2・3・4	半期		2	INV106
			データサイエンス概論B	1・2・3・4	半期		2	INV107
			マルチメディア演習	2・3・4	半期		2	INV314
			データサイエンスのための数学Ⅰ	1・2・3・4	半期		2	INV108
			データサイエンスのための数学Ⅱ	1・2・3・4	半期		2	INV109
		データサイエンスのための数学Ⅲ	2・3・4	半期		2	INV209	
		データサイエンス統計法Ⅰ(心理学統計法)	1・2・3・4	半期		4	INV110	
		データサイエンス統計法Ⅱ	2・3・4	半期		2	INV210	
		ウェブプログラミング演習Ⅰ	1・2・3・4	半期		2	INV111	
		ウェブプログラミング演習Ⅱ	1・2・3・4	半期		2	INV112	
		ソフトウェア設計演習Ⅰ	2・3・4	半期		2	INV315	
		ソフトウェア設計演習Ⅱ	2・3・4	半期		2	INV316	
		AI・機械学習演習Ⅰ	3・4	半期		2	INV402	
AI・機械学習演習Ⅱ		3・4	半期		2	INV403		
プログラミング応用		2・3・4	半期		2	INV211		
インタフェースデザイン	3・4	半期		2	INV317			
ヒューマンコンピュータインタラクション	3・4	半期		2	INV318			
リスク分析入門	3・4	半期		2	INV319			

## 開智国際大学データサイエンス教育委員会規程

(設置及び名称)

第1条 開智国際大学（以下、「本学」という。）にデータサイエンス教育委員会（以下、「委員会」という）を置く。

(構成)

第2条 次に掲げる委員をもって組織する。

(1) 学長が指名する教職員数名（各学部1名以上）

(委員長)

第3条 委員会に委員長を置き、学長が指名する委員をもって充てる。

2 委員長はデータサイエンス教育委員会を主宰する。

3 委員長に事故あるときは前条に掲げる委員のうちから、委員長が予め指名する委員がその職務を代行する。

(委員会)

第4条 委員会は、委員の過半数の出席により成立し、出席委員の過半数により議事を決する。

(委員会の審議または調査事項)

第5条 委員会は、次に掲げる事項のうち、特に重要と認められるものについて審議し、または必要な業務を遂行する。

(1) 全学的なデータサイエンス教育の計画・推進に関する事項

(2) 数理・データサイエンス・AI教育プログラム(MDASH)認定制度に関する申請とその他の対応に関する事項

(3) 理事長または学長が指示するその他の事項

(委員会の事務)

第6条 委員会の事務は、教務学生課が処理する。

(改廃)

第7条 本規程の改廃は、運営会議の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。

大学等名	開智国際大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	開智数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和7年度

## 取組概要

### プログラムの目的

「開智数理・データサイエンス・AI教育プログラム」では  
 学生が学生生活や卒業後の社会生活において  
**数理・データサイエンス・AIを適切に活用できる基礎的  
 素養を育成し、社会に貢献できる人材の育成**  
 を目的とする。

### 学生が身に付けられる能力

- ・数理・データサイエンス・AIを学ぶことの必要性を理解することができる。
- ・社会でデータがどのように利活用され、新たな価値を生んでいるのかを理解することができる。
- ・データサイエンスでの問題解決手法について理解し、社会的課題に適応することができる能力を身につけることができる。
- ・AIの得意なところ、苦手なところを理解し、人間中心の適切な判断する力を身につけることができる。

### 開講されている科目の構成

全学部選択科目(6単位) 教育学部 国際教養学部

データサイエンス概論A・・・必須科目、2単位  
 データサイエンス概論B・・・オプション科目、2単位  
 AI概論 ……………オプション科目、2単位

### 修了要件

★プログラムの修了段階によって修了要件を区分

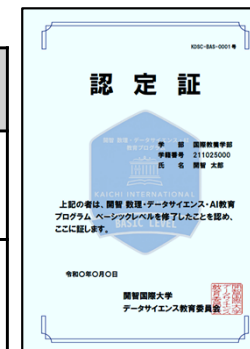
必須科目である「データサイエンス概論A」2単位を修得すること。

→ **ベーシックレベル**を認定

さらにオプション科目である「データサイエンス概論B」2単位および「AI概論」2単位を修得

→ **スタンダードレベル**を認定

プログラムの段階名称	プログラム修了要件(修得科目)
開智数理・データサイエンス・AI教育プログラム ベーシックレベル	データサイエンス概論A
開智数理・データサイエンス・AI教育プログラム スタンダードレベル	データサイエンス概論A データサイエンス概論B AI概論



### 実施体制

#### データサイエンス教育委員会

